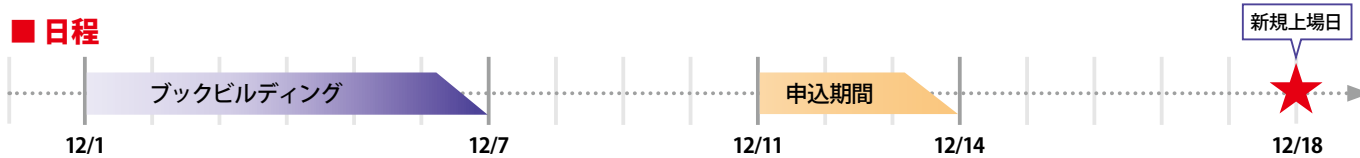


## IPO銘柄 歯愛メディカル (3540・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹証券
3540	100株	公募: 0.00万株 売出: 100.00万株 (OA10.00万株)	3,210円~3,300円 (21.0倍)	SMBC日興証券



### 歯科医院や歯科技工所向け歯科材料の通信販売

#### ■ 事業内容

歯科医院や歯科技工所を中心に歯科材料などの通信販売を手掛ける。全国およそ6万件の歯科医院に納入し、歯科業界の歯ブラシ販売本数、歯科通販売上高でトップシェアを握っている。主なカタログは歯科医院向けの「CIメディカル」、クリニック向けでメディカルウェアの提供を行う「nurse+care」、歯科技工所向けの「DENTAL LABO」、動物病院向けの「Vet」など。提供先別にカタログを用意しており、子会社を通じて個人向けの通販サービス「デンタルフィット」も手掛ける。その他事業では歯科技工物製作事業や歯科医院を対象としたホームページ作成代行事業、歯科医院向けの太陽光発電による電力事業などを行っている。通信販売事業の単業態。

#### ■ 特徴

通信販売はカタログが主で、国内外の卸業者やメーカーから仕入れた商品を歯科医院向けに直接販売。商品の仕入れ、配送は顧客からの受注機能、仕入れ商品の発注機能、入出荷機能、コールセンターによる顧客サポート機能を本社に集約しており、この効率化、合理化によって従来の医療卸業と比べて安価な価格設定を実現。定期的なセールや新商品のサンプル提供実施でリピート率の向上に努めている。

### アナリストコメント

#### ■ 定量分析

17年12月期の連結経常利益は前期比30.1%増の24億2,600万円と予想している。歯科向け競争が激化しているものの、足元は新商品の販売や個人医院、総合病院など医科業界向け販売が拡大。電力事業も順調に拡大している。

#### ■ 定性分析

TOKYO PRO Market (TPM) に上場していたが、今回TPMを上場廃止してジャスダックへ新たに上場する。TPM出身企業のIPOは初めて。収益規模などは十分に評価できる規模だが、やや変則的な案件と敬遠されてしまう可能性もある。

#### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は35億円程度。新興市場上場案件としては荷もたれ感がある規模となっている。12月18日は4社が集中上場するため、需給面に不安を抱える同社には初値買い資金分散の影響が出るかもしれない。

(小泉健太)

#### ■ 類似企業

歯愛メディカル(3540・JASDAQ)	予想PER21.0倍 (仮条件上限)
松風 (7979・東証1部)	予想PER23.3倍
ナカニシ (7716・JASDAQ)	予想PER25.5倍

#### ■ 引受証券

SMBC日興証券、大和証券、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、フィリップ証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
15年12月期(実績)	18,145	—	1,610	—	1,088	—	108.9	—
16年12月期(実績)	20,334	12.1	1,864	15.8	1,282	17.8	128.3	—
17年12月期(会社予想)	23,109	13.7	2,426	30.1	1,574	6.8	157.4	未定

※ 15年12月期より連結決算  
 ※ 16年3月と17年11月に株式分割(1株→10,000株、1株→5株)を実施。15年12月期と16年12月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
15年12月期	200	7,463	5,861	10	583.7	78.2	20.6
16年12月期	2,000,000	9,044	7,065	10	706.5	78.1	19.9

※ 15年12月期と16年12月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	清水 清人	6,000,000	60.00
2	エア・ウォーター	4,000,000	40.00

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	清水 清人
常務取締役(オペレーション統括部長)	大平 吉成
取締役(CAD/CAM・インプラント事業部長)	油谷 秀明
取締役(商品統括部長)	中西 康之
取締役	奥澤 明
常勤監査役	宮下 友保
監査役	村上 文孝
監査役	園部 敏之

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。